

6. 本時のねらい

自分たちの作ったスイートポテトをお客さんに売る活動を通して、自分たちの手で作った物を買ってもらえる喜びを知ることができる。
また、お礼を言ったり丁寧に渡したりして、お店屋さんらしい言動で接することができる。

7. 本時の展開

	主な学習活動	A児 予想される児童の姿 ・支援 評価	B児 予想される児童の姿 ・支援 評価	C児 予想される児童の姿 ・支援 評価	D児 予想される児童の姿 ・支援 評価
	個人のねがい	ぼくたちの作ったスイートポテトが全部売れて欲しい	たくさん売れてお金が儲かるといいな。	お客さんがたくさん来てくれるとうれしい。	お客さんに喜んでもらいたい。
導入	めあての確認をする	「お客さんにたくさん買ってもらえるように、自分で考えて呼びかけます」	お金の計算を間違えないように計算して、お客さんにはっきり伝える。	本物のお店屋さんみたいに大きな声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」の声をかける。	お客さんに「ありがとうございました」と言って両手で品物をわたす。
/	お店の開店	「いらっしゃいませ」「おいしいですよ」など、自分で考えて呼びかけをする。 ・自分勝手なことをしないように、持ち場を決めておく。 ・お客さんに自分から話しかけていく行為を認めてやる。 相手の目を見ながら会話をすることができる。	「 円になります」「ありがとうございます」と言いながら、お金の受け渡しをする。 ・電卓を横に置きながら、お金を計算するようにする。 ・進んでお客さんに声かけられるように声かけをする。 自信を持って大きな声で値段を知らせることができる。	お客さんの買ってくださった品物を袋に入れて渡しながら、「ありがとうございます」と声をかける。 ・一人で声を出すのが恥ずかしそうな時は、いっしょに声を出してやる。 大きな声であいさつをすることができる。	お客さんの買ってくださった品物を袋に入れて渡しながら、「ありがとうございます」と声をかける。 ・一人で声を出すのが恥ずかしそうな時は、いっしょに声を出してやる。 大きな声であいさつをすることができる。
展開	お店の閉店	帰られるお客さんには「ありがとうございました」と声をかける。	お金を種類別に仕分けして片付けることができる。	お店の片づけを進んでする。	お店の片づけを、手つだうことができる。
	お金の集計をする	「みんなでお祝いをしよう」	「銀行にお金を預けに行こう」	「ジュースなら何本買えるのかなあ」	「すごい。たくさんのお金だ」
/	うれしかったことを発表する	「お客さんがたくさん来てくれてうれしかった」	「お客さんにたくさん買ってもらえてうれしかった」	「おいしそうだねといってもらえてうれしかった」	「ありがとうとかおいしそうとってもらえてうれしかった」
終末	めあての反省をする	「ぼくは、たくさんいらっしゃいませが言えた」	「お金の計算を間違えないでおつりを出せてよかった」	「大きな声でいらっしゃいませが言えたのでよかった」	「上手にスイートポテトをわたしたよ」